



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：薬剤部 津田 泰正

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 薬剤部 津田 泰正

# 当院のがん患者さんにおけるエリキュース®錠、イグザレルト®錠、リクシアナ®錠による出血リスクに関する研究

## 1.研究の対象

2015年1月～2023年3月までに静脈血栓塞栓症を発症し、当院でアピキサバン（エリキュース®錠）又はリバーロキサバン（イグザレルト®錠）、エドキサバン（リクシアナ®錠）による治療を受けられた方

## 2.研究の目的・方法

近年、がん患者さんは静脈血栓塞栓症を合併することが多く、がん患者さんの4～20%に発症するとの報告もされており、静脈血栓塞栓症の予防・早期治療が推奨されています。静脈血栓塞栓症の予防・治療には、経口抗凝固薬であるアピキサバン（エリキュース®錠）又はリバーロキサバン（イグザレルト®錠）、エドキサバン（リクシアナ®錠）などが用いられますが、出血性有害事象をリスクとして持っております。本研究は、2015年1月～2023年3月までに静脈血栓塞栓症を発症し、当院でアピキサバン（エリキュース®錠）又はリバーロキサバン（イグザレルト®錠）、エドキサバン（リクシアナ®錠）による治療を受けられた方における出血性有害事象及びその状況を調査し、出血発現リスク因子を評価することを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2026年3月31日までの予定です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、抗がん剤治療の治療歴、血液検査データ、カルテ番号、カルテ記載内容、薬歴等